

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	蒲田駅周辺のまちづくり						
主な取組内容	世界への玄関口となる羽田空港を活用し、大田区を中心拠点にふさわしい魅力と活力あるまち蒲田をめざします。そのため、交通結節機能*を充実し、都市機能を更新するとともに、まちの安全や景観の向上に取り組みます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
将来構想の調整・策定		→					
蒲田駅周辺地区ランドデザインの推進			→	→	→	→	検証
旧逆川の整備		→	→	→	→	→	完了

所管部局	まちづくり推進部、都市基盤整備部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【蒲田駅周辺地区ランドデザインの推進】</p> <p>(1) 計画事業の推進</p> <p>○ランドデザインの計画事業について、各所管課が年度目標を設定し取り組みました。</p> <p>(2) 駅周辺整備</p> <p>○蒲田駅周辺整備計画策定調査研究会（3 回）を開催して、蒲田駅周辺の都市基盤整備に関する検討を行い、蒲田駅周辺整備計画のたたき台をまとめました。</p> <p>○調査研究会に鉄道事業者が参加する駅開発検討部会（3 回）を設置・開催し、駅構内等の歩行者通行量調査への協力を得ました。</p> <p>○蒲田駅周辺の在住・在勤者等を対象に、蒲田駅周辺まちづくりに関するワークショップ（参加者 48 人）、タウンミーティング（参加者 55 人）を開催しました。</p> <p>○対象街区地権者の権利関係を調査し、地権者データを作成しました。</p> <p>○地権者 458 人に事前案内を発送した上で、蒲田駅周辺のまちづくりに関する地権者説明会（参加者 87 人）を開催しました。その後、意向調査、ヒアリングを実施し、準備会の立ち上げに向けた調整を行いました。</p> <p>○川崎駅周辺整備の視察（参加者 14 人）、蒲田駅周辺まちづくりに関する懇談会（参加者 33 人）を実施し、組織化に向けた意識付けを行いました。</p>	4	

<p>【旧逆川の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○蒲田再開発推進委員会ワーキンググループ主催による検討会（8回）を実施し、デザイン基本方針を決定しました。 ○ワーキングショップ（2回）を実施し、模型や舗装のサンプルを実際に見てもらい、意見を把握しました（アンケート回答数延べ370）。 ○地元検討会（2回）、地元説明会（参加者28人）を実施し、デザイン基本方針を決定しました。 ○道路改修工事の設計（延長210m）を完了しました。 ○植栽撤去、仮舗装（217㎡）、パイプ柵設置（99m）を完了しました。 	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>38,766,325 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○蒲田駅周辺整備計画策定調査研究会を、地元関係者等を含めた「（仮称）蒲田都市づくり推進会議」へ発展的に再編し、平成23年度の蒲田駅周辺整備計画（たたき台）をもとに、更に検討を深め、駅周辺整備計画を策定します。駅前広場の都市計画変更の手続きに向けて、詳細な調査と基本計画を作成します。 ○都市基盤施設整備のほか、駅周辺街区も含めて蒲田のまちづくりを推進するため、関係地権者による組織づくりと運営支援により、建物の建替更新につなげていきます。 ○電線共同溝の整備を進めるとともに、道路整備に関する細部のデザインについて地元と協議を続けます。 		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名		大森駅周辺のまちづくり					
主な取組内容		歴史と文化と浜風のかおる、にぎわいと交流のあふれるまち大森をめざした駅周辺のまちづくりを推進します。(仮称)大森北一丁目開発により、区有地を有効に活用し、大森のまちのにぎわいを創出する拠点として複合施設を整備します。					
(平成/年度)		21	22	23	24	25	26~30
基本調査による将来構想(案)の検討・策定		→					
将来構想の調整・策定			→				
大森駅周辺地区グランドデザインの推進				→	→	→	検証
(仮称) 大森北一丁目開発	民間事業者による複合施設の建設	→	→				
	民間事業者による複合施設の管理運営			→	→	→	継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【大森駅周辺地区グランドデザインの推進】</p> <p>○蒲田駅周辺地区グランドデザイン庁内推進委員会設置要綱に大森駅周辺地区グランドデザインの推進に関する追記を改訂し、大森駅周辺地区グランドデザイン庁内推進委員会(2回)を開催しました。</p> <p>○大森駅周辺地区グランドデザインアクションプランの平成23~25年度の目標(計画)を明記した取組状況シートを作成し、ホームページで公表するとともに、地域団体・事業者等へ郵送(34団体)、説明(25団体)しました。</p> <p>○大森駅周辺地区グランドデザイン推進に向けた調査の中で、①戦略的エリアマネジメントの方向性調査、②山王1・2丁目地区の整備課題の抽出・整理、③案内サインの必要性及び有効性の検討、④東西連絡通路等の方向性の検討を行いました。なお、戦略的エリアマネジメントの方向性調査における地域団体・事業者等へのヒアリングは、区が大森駅周辺地区グランドデザインアクションプラン取組状況シートの説明と同時に行いました。</p> <p>○大森駅周辺の都市基盤施設及び市街地整備の考え方について再整理し、今後、大森駅周辺地区グランドデザインで取り上げられた課題解決への方向性を示す「大森駅西側駅周辺の整備に向けて」を短期~中期の重点的な取り組みとして進めることとしました。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>	4	

<p>(前ページからの続き)</p> <p>○大森駅周辺地区グランドデザインで取り上げられた課題解決を地域住民とともに考えるため、まず対象街区地権者を対象に、まちづくり説明会(参加者 71 人)を実施しました。その後、地権者組織の設立に向け、準備会の世話人を決定しました。準備会活動では、地権者の意向を把握するためアンケートを実施し、本組織へ向けた準備を進めました。</p> <p>○大森駅西側の実情にあった都市基盤整備のあり方等について、検討を行いました。</p>		
<p>【(仮称)大森北一丁目開発－民間事業者による複合施設の管理運営】</p> <p>○にぎわい指標としてテナントのレジ通過数を設定し、区施設(特別出張所、集会室、図書館、自転車等駐車場)及び民間施設(自転車等駐車場)の利用者数等と合わせて、運営状況を把握しました。</p> <p>○大森複合施設ビル(大森北一丁目開発)庁内連絡調整委員会(2回)を立ち上げ、問題点の整理や解決策の検討を行い、運営者と協議したうえで、サッカーなどで JAPAN アジア最終予選のパブリックビューイベントの開催、区施設サインの改修、地域イベントへの参加等、可能な解決策を実行しました。</p> <p>○庁内連絡調整委員会の部会として Luz 大森魅力向上部会を立ち上げ、魅力向上に向けた具体的な解決策を検討しました。</p>	4	
決算額	17,290,119 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○戦略的エリアマネジメントの方向性のもとに、地域団体・事業者等へ説明を行います。次に、テーマを絞ったワークショップ等を開催し、大森駅周辺の特性に合わせたエリアマネジメントの実現に向けた調整を行います。</p> <p>○大森駅東側駅周辺の都市基盤及び市街地について、実施可能な整備について検討を進めます。</p> <p>○大森駅西側駅周辺の都市基盤及び市街地について、東西における問題解決と並行して、短期～中期の重点的な取り組みとして、まちづくりを進めます。</p> <p>○現在準備会活動を行っている地権者組織を本組織に移行すべく支援を実施していきます。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	身近な地域の魅力づくり						
主な取組内容	私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力と活力がみなぎるまちを推進するため、安全で快適な歩行空間を確保し、地域活性の拠点となる整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
地域まちづくり拠点整備		→					継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取組み内容		進捗状況
<p>【地域まちづくり拠点整備】</p> <p>○電線共同溝及び道路詳細設計委託（その2）を完了しました。</p> <p>○区画街路第 1 号線（その3）の鉄道蓋かけ工事（310m）を実施しました。（継続して施工中。）</p> <p>○契約買収（1 画地、56.78 ㎡）を行いました。</p>		4
決算額	1,546,052,465 円	
次年度以降の主な取組み	○平成 26 年 3 月の完了をめざし、鉄道部分の蓋かけ工事を継続して実施します。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり						
主な取組内容	京浜急行線連続立体交差事業を契機に、京急蒲田駅西口、糀谷駅前及び雑色駅の周辺地区において、駅前環境や住・商業環境の整備、防災機能の向上等を図るため、市街地再開発事業*等による整備を目標とする、関係権利者組織の活動を支援します。あわせて、駅前拠点の整備における公共サービスの提供について、方針や可能性などの検討を行います。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
再開発等事業化支援(3地区)		→					完了 (26年度)
公共サービス提供に関する検討		→					

所管部局	連続立体事業本部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【再開発等事業化支援（3地区）】</p> <p>◎京急蒲田駅西口周辺地区</p> <p>○駅前組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総会（3回）、理事会（30回）、検討状況等報告会（7回）等の実施を支援しました。 ・ 施設建築物実施設計・公共施設詳細設計、権利変換計画作成等業務について、助成金及び管理者負担金を交付しました。 ・ 権利変換計画作成に向けた協議・調整（土地調書・物件調書作成、権利者合意形成等）の実施を支援しました。 <p>○京急蒲田西口地区まちづくり研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総会（1回）、役員・運営委員会（9回）、広報紙発行（10回）、説明会（1回、参加者30人）、視察会（1回、視察先：上大岡、参加者14人）の実施を支援しました。 ・ 団体活動費を助成しました。 <p>○蒲田4-1地区都心共同住宅供給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物等除却費及び共同施設整備費助成金を交付しました。 <p>○センターエリア協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総会（1回）、役員会（9回）、広報紙発行（1回）の実施を支援しました。 ・ 団体活動費を助成しました。 <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>	4	

<p>(前ページからの続き)</p> <p>◎糶谷駅周辺地区</p> <p>○糶谷準備組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会（1回）、理事会（5回）、ワークショップ（4回、参加者延べ43人）の開催を支援しました。 ・本組合設立に向けての合意形成を進めるため、個別面談の実施について支援しました。 ・本組合設立認可申請について、臨時総会（1回）、認可申請を支援しました。 <p>◎雑色駅周辺地区</p> <p>○雑色駅周辺まちづくり研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会（1回）、運営委員会（7回）、事業実施検討部会（3回）の開催を支援しました。 ・団体活動費を助成しました。 ・区のPR紙「まちづくりニュース」（1回）を発行しました。 ・広報紙「まちづくりだより」（2回）の発行を支援しました。 ・広報紙「事業実施検討部会報告」（4回）の発行を支援しました。 		
<p>【公共サービス提供に関する検討】</p> <p>○京急蒲田駅西口周辺地区では、京急蒲田駅から周辺公共施設等に誘導・案内をするためのサイン計画を作成し、道路管理者等との協議を行いました。サイン計画は、蒲田駅周辺地区に設置済みの『観光サイン』を中心に、方向案内・誘導用サインの配置を計画しました。</p> <p>○糶谷駅周辺地区では、公共駐輪場、防災倉庫、高齢者・子育て支援施設（認可保育園・さわやかサポート）の整備について検討しました。</p>	4	
<p>決算額</p>	<p>460,637,131 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○京急蒲田駅西口周辺地区については、市街地再開発事業に関し、権利変換計画認可に向けた支援（助成金交付等）を実施するほか、都心共同住宅供給事業に関しては、施設建築物建設支援（助成金交付等）を実施します。また、引き続きまちづくり団体の活動支援を実施します。</p> <p>○糶谷駅周辺地区については、再開発組合設立に向けた支援のほか、地盤調査、実施設計、権利変換計画書作成に向けた支援を実施します。</p> <p>○雑色駅周辺地区については、地区計画導入に向けた協議及び事業化区域の選定検討等、まちづくり団体の活動支援を実施します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名		京浜急行線連続立体交差事業の推進						
主な取組内容		京浜急行線の連続立体交差化により28箇所の踏切を除去し、交通渋滞の解消や、鉄道による地域分断の改善により、まちの活性化や魅力あるまちづくりを推進します。また、本線と空港線が分岐する京急蒲田駅の総合的な改善も行います。あわせて、高架下空間の利用、交差道路の整備についても具体化を進めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
鉄道高架化	用地取得		→					
	工事		→					
交差道路・側道整備工事					→			完了 (26年度)

所管部局	連続立体事業本部	
平成 23 年度の取り組み内容		進捗状況
<p>【鉄道高架化－工事】</p> <p>○連続立体交差事業の負担金や京急蒲田駅総合改善事業補助金を支出しました。</p> <p>○大森町駅の上りエスカレーター及び仮駅舎が供用開始となりました。</p> <p>○京急蒲田駅3階の下り線軌道敷設を継続して施行しています。</p> <p>○平和島側、六郷土手側、大鳥居側の高架橋への取付部の工事を継続して施行しています。</p>		4
<p>【交差道路・側道整備工事】</p> <p>○関連側道整備工事（空港線付属街路第1号線の一部区間）を完了しました。</p>		4
決算額	907,984,260 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○平成 24 年 10 月に上下線全線を高架化し、28 か所の踏切全てが除却される予定です。</p> <p>○平成 26 年度には、関連側道を含む事業を完了する予定です。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	新空港線「蒲蒲線」*の整備促進						
主な取組内容	区民の利便性向上と国際化する羽田空港へのアクセス [*] 機能を高めるため、JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ、新空港線「蒲蒲線」の整備を促進していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
整備事業化に向けた検討							継続
関係機関との協議、調整							継続
区民協議会と連携した促進活動							継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【整備事業化に向けた検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○航空旅客動態調査及び経済センサスによる統計従業者数調査等の結果を踏まえ、現時点で反映可能な最新データに更新しました。 ○羽田空港の開発状況及び今後の計画の進捗状況を踏まえた検討を行いました。 ○検討の結果、現在想定している条件において、一定の事業性があることを確認しました。 	4	
<p>【関係機関との協議、調整】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国、東京都、大田区、鉄道事業者等で構成する新空港線「蒲蒲線」調査に伴う勉強会（2回）を開催しました。 ○整備促進に向け、勉強会を通じて関係者に働きかけるとともに、勉強会の機会以外にも、東京都、鉄道事業者等関係者に協力要請を行いました。 ○国（国土交通省都市鉄道課）の予算説明会や自治体ヒアリングの場において、検討状況を説明するとともに、別途個別に、国宛てに協力要請を行いました。 	4	

<p>【区民協議会と連携した促進活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 22 年度までの調査とりまとめを公表しました。 ○調査とりまとめ及び、調査結果を踏まえた新たなパンフレットを作成し、区民等に配布周知するとともに、ホームページに掲載しました。 ○新空港線「蒲蒲線」整備促進協議会（参加者 232 人）を開催し、「羽田空港の国際化・容量拡大と新空港線「蒲蒲線」の必要性」というテーマで、明治大学公共政策大学院教授の青山侑氏に講演をいただきました。 	4	
決算額	5,607,175 円	
次年度以降の主な取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> ○新空港線「蒲蒲線」の整備促進に向け、平成 23 年度調査のとりまとめを基に、パンフレットやホームページ等により、広く周知を図ります。 ○平成 23 年度の検討結果を踏まえ、国や東京都、鉄道事業者等、関係機関への積極的な働きかけを行います。 ○事業実行性向上のため、羽田空港の機能拡充や国際化の進展等、将来の需要予測の見直し等の動向を把握、検討します。 		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名		都市計画道路の整備						
主な取組内容		主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区画街路第1号線	用地取得・整備							継続
補助44号線その2	用地取得・整備・測量							残路線事業着手
補助43号線	用地取得・測量							残路線事業着手

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取り組み内容		進捗状況
<p>【区画街路第1号線ー用地取得・整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電線共同溝及び道路詳細設計委託（その2）を完了しました。 ○区画街路第1号線（その3）の鉄道蓋かけ工事（310m）を実施しました。（継続して施工中。） ○契約買収（1画地、56.78㎡）を行いました。 		4
<p>【補助44号線その2ー用地取得・整備・測量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○契約買収（4画地、225.23㎡）を行いました。 ○マンション敷地（1画地、115.52㎡、全148戸）に対する土地収用法裁決申請を実施し、119戸分の売買契約を締結しました。 ○土地開発公社から用地（187.50㎡）の買戻しを行いました。 ○復元測量1件、管理舗装541㎡を完了しました。 		4

<p>【補助 43 号線－用地取得・測量】</p> <p>○事業認可取得し、東京都道路整備保全公社との協力のもと、用地買収折衝に取り組みました。</p> <p>○契約買収（3 画地、339.02 m²）を行うとともに、代替地（1 画地、550.13 m²）を取得しました。</p> <p>○復元測量 1 件、管理舗装 110 m²を完了しました。</p>	4
---	---

決算額	389,809,837 円*	
-----	----------------	--

次年度以降の主な取り組み

<p>○区画街路第 1 号線及び補助 44 号線その 2 については、引き続き着実な用地買収を継続して行います。また、補助 44 号線の電線共同溝整備を進めます。</p> <p>○補助 43 号線に関しては、東京都道路整備保全公社との協力のもと、積極的な用地取得に取り組みます。</p>

*区画街路第 1 号線については、別の未来プラン事業である「身近な地域の魅力づくり」(P.73) と同様の内容です。したがって、決算額の重複を避けるため当該経費は「身近な地域の魅力づくり」のみに計上しています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	コミュニティバス*の導入検討、運行支援						
主な取組内容	区内交通不便地域を解消するため、地域が支えるコミュニティバスの導入を検討するとともに、運行を支援します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
試行運行・運行検証		1地区					
運行支援							検証
導入検証結果を踏まえて運行計画の策定							検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取り組み内容		進捗状況
<p>【運行支援】</p> <p>○運行事業者への運行事業補助金の交付、利用促進策の検討、利用案内の配布、イベントによるバス利用 PR 等の運行支援を行いました。</p> <p>○平成 23 年度の乗車人員は約 38,000 人（前年度比 2,000 人増）、1 便あたりの平均乗車人員は 6.7 人（前年度比 0.1 人増）でした。</p>		4

【導入検証結果を踏まえて運行計画の策定】

○運行検証結果に基づく課題（利用促進、サービス水準の改善、事業採算性の向上）を検討するために、地元関係者（住民、福祉関係者、運行事業者）による「大田区コミュニティバス等検討会議・作業部会」（3回、参加者延べ62人）を開催しました。

＜利用促進＞

○利用促進について、検討を深め、具現化していくための作業部会有志の会（3回、参加者延べ43人）を設立、開催しました。

○利用案内を大田観光協会や大田区民プラザ、銭湯、郷土博物館等に配布しました。

○車内広告枠を暫定活用し、夏祭りや多摩川清掃工場の環境フェア等、地元行事のほか、平和の祭典やおおた商い観光展等、区の行事のPRを行いました。

○郷土博物館、矢口特別出張所と連携し、バス利用案内の配布やバス沿線案内ポスターの掲示、郷土博物館特別展ポスターの掲示やチラシ配布を行いました。

○矢口地区の自治会町会掲示板にて、バス沿線案内ポスター（241枚）の掲示を行いました。

○地域の高齢者と接する機会の多い民生委員（29人）に、たまちゃんバスの説明、紹介を行いました。

○矢口地区自治会連合会が主催する「二十一世紀桜まつり」にてたまちゃんバスブースを開設し、スタンプラリー、ポスター掲示、利用案内配布を実施し、地域住民へ広くPRを行いました。

○たまちゃんブースへ多くの人を誘致するため、チラシを作成（500枚）し、矢口特別出張所で配布するとともに、地域住民・区による街頭配布（2か所、参加者延べ15人）を行いました。

○ホームページに「二十一世紀桜まつり」のたまちゃんブースの開設について掲載し、PRを行いました。

＜サービス水準の改善＞

○朝夕各2便の増発（平成24年2月1日から、変更前15便→変更後19便）を行いました。

○増便をPRするため、チラシ（2万枚）を作成し、矢口地区自治会町会や矢口特別出張所、図書館等に配布するとともに、地域住民・区による街頭配布（4か所、参加者延べ16人）を行いました。

（次ページへ続く）

<p>(前ページからの続き)</p> <p>○区報(平成24年2月11日号)及びホームページにて、増便についてPRを行いました。</p> <p>○作業部会で、ルート変更の可能性について検討を行うとともに、部会員・区・運行事業者で現地調査を行いました。</p> <p><事業採算性の向上></p> <p>○広告代理店による車内広告の募集活動(取組実績約90件(訪問約10件(区と共同訪問3件)、電話営業約50件、メール営業約30件)、契約2件)を行いました。</p> <p>○地元沿線企業(5社)に車内広告等の募集案内を行いました。</p> <p>○二十一世紀桜まつりのたまちゃんバスブースにて、運行事業者による専用回数券・東急バス1日乗車券の現地販売を行い、増収に努めました。</p>	
決算額	8,860,928円
次年度以降の主な取り組み	
<p>○地元自治会や作業部会等との連携を強化し、多様な利用促進活動に取り組みます。</p> <p>○事業採算性を高めるため、運賃収入以外の収入確保について、引き続き検討します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	自転車駐車場の整備						
主な取組内容	自転車等駐車場を整備し、緊急車両や歩行者などの通行の妨げになっている放置自転車をなくし、安全で安心な魅力あるまちづくりを推進します。						
(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30	
8駅の自転車等利用実態調査を基に駐車場の検討、推進	→						
自転車等駐車場の整備検討	→					継続	
(仮称)大森北一丁目開発による自転車等駐車場設置		→					
京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場設置		→				継続	

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【自転車等駐車場の整備検討】</p> <p>○以下の自転車等駐車場の供用を開始しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大森駅入新井：自転車 298 台増設 ・日本工学院地下：自転車 1,024 台増設 <p>○以下の自転車等駐車場の増設工事を実施し、完了しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川駅前：自転車 142 台増設 ・石川台駅線路脇：自転車 45 台増設 ・蒲田駅西口環八下：自転車 464 台増設 ・久が原駅前：自転車 135 台新設 <p>○糀谷駅前環八（自転車 1,000 台）は、無料制から登録制へ変更しました。</p>	4	

<p>【京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場設置】</p> <p>○京急蒲田駅周辺地区の再開発工事に伴い、京急蒲田駅西口（自転車 484 台、原付 30 台、自動二輪 30 台）を自転車 320 台に縮小しました。</p> <p>○上記の縮小を補うため、以下の自転車等駐車場を設置しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京急蒲田呑川緑道：自転車 100 台 ・京急蒲田東口駅前広場臨時：自転車 25 台、原付 30 台、自動二輪 30 台 	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>164,489,779 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○自転車 135 台を収容できる久が原駅前自転車駐車場を平成 24 年 4 月 10 日に供用開始します（工事は 23 年度に完了）。</p> <p>○鵜の木交番横自転車駐車場は用地を追加して借りることができたため、増設工事を行います。</p> <p>○蒲田駅西口環八下自転車駐車場は、機械式ゲートを設置して、利便性の向上を図ります。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備						
主な取組内容	京浜急行線の連続立体交差化に伴い、ゆとりある歩行者空間を持つ駅前広場やアクセス*道路等を整備し、京浜急行沿線の魅力あふれるまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
用地取得		→					
アクセス道路等の整備		→					完了 (26年度)
京急蒲田駅東口駅前広場の整備						→	完了 (26年度)

所管部局	連続立体事業本部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【アクセス道路等の整備】</p> <p>○本線付属街路第 1 号線び大田区画街路第 2 号線の電線共同溝及び街路整備詳細設計、放射第 19 号線交通広場実施設計を完了しました。</p> <p>○補助線街路第 328 号線の整備工事（交差点整備・下水道管新設・電線共同溝）を完了しました。</p>	4	
決算額	1,782,964,203 円	
次年度以降の主な取り組み	○平成 24 年度は、本線付属街路第 4・5 号線の下水道整備を行います。平成 25 年度以降については、関係機関と協議しながら整備を進めます。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	公園の整備						
主な取組内容	地域環境の改善を図り、防災面での安全性を高め、区民の余暇活動や健康増進に寄与するために、都市に潤いをもたらす公園緑地の整備、拡張を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
田園調布せせらぎ公園	用地取得・整備						継続
東糀谷防災公園	整備						
東蒲田公園	整備						
佐伯山緑地	用地取得・整備						完了
馬込自然林緑地	用地取得・整備						
一般公園	用地取得・整備						検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
【田園調布せせらぎ公園－用地取得・整備】 ○公園増設部分（マンション跡地）の設計、整備工事が完了しました。	4	
【東蒲田公園－整備】 ○整備工事が完了しました。	4	
【佐伯山緑地－用地取得・整備】 ○整備工事（第 2 期）が完了しました。 ※平成 24 年度から完成区域を一部供用開始 ○正式名称を「佐伯山緑地」と決定しました。	4	
【馬込自然林緑地－用地取得・整備】 ○整備工事が完了しました。 ○隣接する南馬込二丁目区民緑地（特別緑地保全地区）と一体的に整備を行いました。 ○正式名称を「馬込自然林緑地」と決定しました。	4	

<p>【一般公園－用地取得・整備】</p> <p>○あすなろ児童公園、千束児童遊園、萩中児童遊園、(仮称)大森南四丁目第二公園の工事が完了しました。</p> <p>○(仮称)大森南四丁目第二公園の正式名称を「森ヶ崎交通公園」と決定しました。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>1,047,827,781 円</p>
<p>次年度以降の主な取り組み</p>	
<p>○田園調布せせらぎ公園については、造成工事(第二水源上部)を行います。</p> <p>○佐伯山緑地については、造成工事(第4期)の設計及び造成工事(第3期)を行います。</p> <p>○一般公園の整備に関しては、高畑第三児童公園、南馬込一丁目南児童公園、蘇峰公園で既存公園隣接地に新たに用地取得できたため、増設工事の設計を行います。(仮称)南雪谷五丁目公園は、新たに単独で公園用地を取得できたため、造成工事の設計を行います。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	魅力ある公園のリニューアル						
主な取組内容	安全で使いやすい公園とするために、バリアフリー*化を進めます。また、幅広い世代が交流できる場として、高齢者向けの健康遊具*の設置や遊具・設備を更新するとともに、防災機能の向上も図りながら公園をリニューアルします。このほか、魅力ある豊かな自然環境を確保するため、公園緑地の整備や桜の樹木更新などを進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
大規模公園のバリアフリー化		→ (8箇所/5年)					継続
健康遊具設置		→ (1箇所/年)					
遊具改修		→ (8箇所/年)					検証
桜の保全・更新		→					検証

所管部局	都市基盤管理部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
【大規模公園のバリアフリー化】 ○萩中公園（第 3 期）、洗足池公園（第 2 期）、池上梅園（第 1 期）のバリアフリー化の設計を行い、完了しました。 ○萩中公園（第 3 期）、平和の森公園（第 1 期、第 2 期）、洗足池公園（第 1 期）、都堀公園のバリアフリー化の工事を行い、竣工しました。	4	
【健康遊具設置】 ○ふくし公園に健康遊具（8 基）を設置しました。	4	
【遊具改修】 ○桜並木公園、北三児童公園、はなみずき児童公園、蒲田本町一丁目公園、西六郷二丁目児童公園、森ヶ崎公園、洗足池公園、平和の森公園、すすむし児童公園の遊具改修を行いました。	4	

<p>【桜の保全・更新】</p> <p>○洗足池公園で桜の保全を行い、桜 200 本の樹勢回復を行いました。</p> <p>○洗足池公園で桜の更新工事を行い、桜を 5 本植樹しました。</p>	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>281,400,200 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○大規模公園のバリアフリー化について、平成 24 年度は設計 5 か所（萩中公園（第 4 期）、洗足池公園（第 3 期）、本門寺公園（第 2 期）、池上梅園（第 2 期）、蘇峰公園）、工事 5 か所（萩中公園（第 4 期）、洗足池公園（第 2 期）、平和の森公園（第 3 期）、本門寺公園（第 1 期）、池上梅園（第 1 期））を行います。</p> <p>○健康遊具については、引き続き 1 か所設置します（萩中公園）。</p> <p>○遊具改修については、邦西第二児童公園、中央二丁目児童公園、東調布公園、南蒲公園、新蒲田公園、旧呑川緑地、萩中公園において工事を行います。</p> <p>○桜の保全・更新については、洗足池公園の更新（4 本）を行います。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	呑川緑道の整備						
主な取組内容	呑川の側道に街路樹を植樹するほか、護岸の壁面緑化*を行います。また、路面温度上昇を抑制するため、遮熱性舗装*などで散策路を整備します。 このほか、沿川の歴史と環境を活かした観光スポットとしての観点からサイン計画を策定し、散策路にサインを設置していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
橋詰部等用地取得		→					
緑道整備		(1,200m/5年) →					検証
サイン整備		→					検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取組み内容	進捗状況	
【橋詰部等用地取得】 ○用地取得に関する検討を行いました。適地がなかったため、用地取得を行いませんでした。 ○橋梁架替工事に伴う用地取得については、他部署と連携して取得へ向けての働きかけを行いました。 ○呑川沿道の民間開発の際には、緑道幅員の確保等の指導、協力要請を行いました。	4	
【緑道整備】 ○南雪谷五丁目 17 から 21 番先外 2 路線 (延長 360m) の設計が完了しました。 ○池上一丁目 29 番先 (延長 73m) の整備工事が完了しました。	4	
【サイン整備】 ○関係機関協議等の調整を行いました。	4	
決算額	18,435,900 円	
次年度以降の主な取組み		
○東雪谷三丁目 32 番先 (延長 150m) の設計を行います。 ○南雪谷五丁目 17 番先 (延長 200m) の整備工事を行います。 ○サイン整備については、関係機関との協議等、調整を行います。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	桜のプロムナード*の整備						
主な取組内容	水と緑のネットワークの充実を図るため、洗足流れ・馬込桜並木・内川に至る道路を散策路として整備するとともに、サイン整備を進めていきます。また、馬込桜並木の桜再生(枯損木植替え)を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
散策路整備		→ (800m/5年)					検証
桜の保全・更新		→					検証
サイン整備			→				検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取組み内容	進捗状況	
【散策路整備】 ○大森西二丁目 21 番先外（延長 420m）の設計が完了しました。 ○南馬込四丁目 10 番～六丁目 18 番先（延長 160m）の再整備工事が完了しました。 ○大森東一丁目 21 番～26 番先（延長 121m）の整備工事が完了しました。	4	
【桜の保全・更新】 ○民間事業者が行う開発を指導し、桜（1 本）が植栽されました。	4	
【サイン整備】 ○関係機関協議等の調整を行いました。	4	
決算額	70,732,200 円	
次年度以降の取組み		
○西馬込一丁目 4 番から 18 番先の道路を桜のプロムナードとして整備するため、実施設計を行います（延長 100m）。 ○大森西二丁目 21 番先に位置する内川沿いの道路は、水辺を散策できる遊歩道の整備を行います（延長 180m）。 ○南馬込四丁目 20 番から六丁目 21 番先に位置する馬込桜並木について、施設の老朽化に伴い歩道や植樹柵のリニューアル整備を行います。また、道路のバリアフリー化を行います（延長 130m）。 ○サイン整備については、関係機関との協議等、調整を行います。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します
 施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	鉄道駅舎のバリアフリー*化の推進						
主な取組内容	区内鉄道駅舎のバリアフリー化のためエレベーターが必要な駅舎への設置支援を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
エレベーター設置支援		支援		検討			継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【エレベーター設置支援】</p> <p>○千鳥町駅のバリアフリー化を鉄道事業者に要望し、スロープの設置によりバリアフリー化されました。</p> <p>○現在バリアフリー化工事中の西馬込駅について、状況等について事業者ヒアリングを行いました。</p> <p>○バリアフリー化困難駅（モノレール天空橋駅）について、事業者から今後のバリアフリー化の方向性等のヒアリングを行いました。</p> <p>○ホームドア整備に向けた検討状況等について、鉄道事業者にヒアリングを行いました。</p> <p>○他区における整備・検討状況について、ヒアリングを行いました。</p> <p>○ホームへの転落防止策として、国の検討を踏まえ、「内方線付き点状ブロック」の整備計画等について事業者ヒアリングを行いました。東急蒲田駅、田園調布駅については、鉄道事業者、東京都とともに整備を検討し、整備されました。</p>	4	
決算額	0円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○現在バリアフリー化工事中（西馬込駅）及び未整備（モノレール天空橋駅他）の駅について、事業者と情報交換等を行います。</p> <p>○引き続き、駅舎のバリアフリー化の状況把握を行い、状況に応じて事業者ヒアリング等を行います。</p> <p>○ホームドア等の整備促進について、事業者の取り組み状況を踏まえながら、今後必要な対応について検討します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	自転車等利用総合対策						
主な取組内容	地球環境にやさしい自転車の利用などについて、区民や鉄道事業者など関係機関と連携・強化を図り、駅周辺の放置自転車や利用者に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上などの対策を協議し、安全で安心なまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
自転車等利用総合基本計画	協議会開催、検討	→					
	検討、策定		→				
事業推進スケジュール検討・調整				→			継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【自転車等利用総合基本計画－検討、策定】</p> <p>○区民、鉄道事業者、学識経験者等で構成する自転車等駐車対策協議会（3回）を開催し、料金体系の見直しや放置防止への対策、自転車走行ネットワーク計画等の検討を行いました。</p> <p>○自転車駐車場の料金体系や商業施設等への附置義務の見直しなど「とめる」を主に検討する第一委員会（3回）、自転車走行ネットワークの構築など「はしる」を主に検討する第二委員会（3回）を開催しました。</p> <p>○駐車対策、放置防止対策、走行環境整備、ルール・マナー啓発等を記載する（仮称）大田区自転車利用に関する整備計画（案）策定に向け、現状と課題を整理して、施策の取り組みの方向性について取りまとめました。</p>	4	
決算額	27,528,569 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○（仮称）大田区自転車利用に関する整備計画を作成します。</p> <p>○引き続き、料金体系の見直しや放置防止への対策、自転車走行ネットワーク計画等の検討を行います。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まろ}

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	だれでもトイレの整備						
主な取組内容	道路や公園などにある公共トイレ(公衆便所や公園便所の一部)の改築や新設にあわせて、誰もが使いやすい「だれでもトイレ」の整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
だれでもトイレの整備	改築			13箇所完了			継続
	新設						継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
【だれでもトイレの整備－改築】 ○鶉の木二丁目児童公園、仲六郷三丁目第二公園、若竹公園、大森西四丁目公園、南蒲公園の公園便所及び多摩川野球場前公衆便所の改築工事が完了しました。	4	
【だれでもトイレの整備－新設】 ○森ヶ崎交通公園、萩中一丁目公園、西六郷二丁目児童公園の新設工事が完了しました。	4	
決算額	107,175,100 円	
次年度以降の主な取り組み		
○平成 24 年度の、工事予定はありません。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	橋梁 [*] の耐震性の向上						
主な取組内容	区が管理する橋梁の中で、緊急道路障害物除去路線*や鉄道を跨ぐ橋梁など防災上重要な橋梁は、計画的に架替・耐震補強整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します(今後整備する優先対策橋梁51橋)。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
架替・耐震補強整備		→					継続
		優先対策橋梁のうち19橋完了					

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取組み内容	進捗状況	
<p>【架替・耐震補強整備】</p> <p>○架替設計（弾正橋）は、関係機関との協議調整を行いました。</p> <p>○架替工事（仲之橋）は、地先への周知説明を行い現場着手、旧橋の撤去を行いました。</p> <p>○架替工事（八幡橋）は、工事（その1下部工）の変更を行い、右岸側橋台の築造、左岸側旧橋台の撤去を行いました。</p> <p>○架替工事（新馬込橋）は、工事契約を行い、関連機関との協議調整を行いました。</p> <p>○耐震補強工事1橋（大森東避難橋）が竣工しました。</p> <p>○耐震補強設計2橋（西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋）及び耐震補強調査設計2橋（新根方橋、富士見橋）が完了しました。</p> <p>○耐震補強工事3橋（町屋跨線人道橋、仲町跨線人道橋、薬師跨線人道橋）が完了しました。</p>	4	
決算額	1,325,543,040 円	
次年度以降の主な取組み	<p>○弾正橋の工事着手に努めます。</p> <p>○仲之橋、八幡橋、新馬込橋の架替工事を進めます。</p> <p>○新たに諏訪橋の架替工事の設計に着手します。</p> <p>○耐震補強設計4橋（稻荷橋、美富士橋、東原橋、八橋）を行います。</p> <p>○耐震補強工事4橋（外川田跨線人道橋、山王道跨線人道橋、宮前跨線人道橋、道々女木橋）を行います。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-1 世界へ羽ばたくまちをつくります

計画事業名	にぎわいのある文化交流拠点の整備						
主な取組内容	国内外の多様な文化圏の相互交流を通じてにぎわいを創出する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

計画事業名	世界へ発信する産業支援拠点の整備						
主な取組内容	基盤技術*の集積を誇る製造業などの区内産業の新市場開拓などに寄与する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

計画事業名	水と緑のふれあいゾーンの整備						
主な取組内容	市街地に隣接した親水及び緑地空間を創出して、環境との共生をめざし、潤いやすらぎのスペースを整備します。あわせて、地域の防災機能の強化を図る空間としての活用を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

所管部局	経営管理部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施】</p> <p>○庁内に、羽田空港跡地利用総合調整作業部会を設置し、土地利用及び基盤整備の内容と課題について検討しました。</p> <p>○跡地第 1 ゾーンを、東京都の「アジアヘッドクォーター特区」に組み込み、国際戦略総合特区の区域指定を受けました。</p>	4	

【関係機関との連絡調整】		4
○基盤施設の整備について、関係機関と協議、調整を行いました。		
決算額	0円	
次年度以降の主な取り組み		
○産業交流施設の具体的な機能について、関係機関と協議しながら検討するとともに、アジアヘッドクォーター特区における特別区域計画への反映について東京都と調整を図ります。		
○基盤施設整備について、関係機関との協議を進めるとともに、必要な調査を行います。		

* 「にぎわいのある文化交流拠点の整備」「世界へ発信する産業支援拠点の整備」「水と緑のふれあいゾーンの整備」は一体的に取り組んだため、取り組み内容等が同一の内容となっています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	海上公園の移管整備						
主な取組内容	臨海部にある公園のあり方や整備内容について検討を行うとともに、東京都港湾局所管海上公園の移管や再整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
臨海部公園整備計画の検討		→					
港湾局移管公園の整備			→				継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
【臨海部公園整備計画の検討】 ○東京都と定期的な検討会（8 回）を開催し、臨海地域における海上公園の活用方法や、区への移管に向けた整備手法に関する検討を行いました。	4	
【港湾局移管公園の整備】 ○東京都港湾局が管理している昭和島南緑道公園について、都の補修工事が完了し、平成 23 年 4 月 1 日付けで区に移管されました。 ○大森緑道公園について、平成 25 年 4 月 1 日の移管に向けた事務処理と設計業務を完了しました。	4	
決算額	0 円	
次年度以降の取り組み		
○東京都港湾局が管理している海上公園の区への移管に向けた事務処理と設計調整等を引き続き進めます。 ○大森緑道公園は、東京都と区の改修工事と工程調整等を進め、平成 24 年度末の完成をめざします。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	海辺の散策路整備						
主な取組内容	海老取川から平和島運河周辺、さらに京浜運河周辺など、臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成を図るため、水とみどりの拠点整備や散策路整備の検討を行い、関係機関と協力しながら整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
臨海部における散策路のあり方検討		→					
散策路計画及び整備手法の検討				→			散策路・拠点整備 検討

所管部局	都市基盤整備部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【散策路計画及び整備手法の検討】</p> <p>○都区検討会（7 回）を開催し、臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成に向けた拠点整備や散策路の整備手法について、検討しました。</p> <p>○散策路設計について、大森東、大森南（延長 1,200m）が完了しました。</p> <p>○橋梁比較設計及び地質調査委託（呑川、北前堀横断部、延長 150m）が完了しました。</p> <p>○散策路整備 2 か所（大森東：工事延長 200m、羽田旭町：工事延長 200m）が完了しました。</p>	4	
決算額	99,375,837 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○散策路整備（大森南：延長 380m）について、東京都への土地使用手続き等、事務処理を進め、平成 24 年度内の完成をめざします。</p> <p>○呑川や北前堀横断部の橋梁設計について、関係機関と工事実施に向けた協議と調整を行います。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	空港臨海部将来構想の検討						
主な取組内容	臨海部の将来構想を策定し、構想に基づいた土地利用の誘導を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
空港臨海部将来構想の検討、策定		→					
空港臨海部将来構想に基づいた土地利用の誘導			→				継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 23 年度の取組み内容		進捗状況
<p>【空港臨海部将来構想に基づいた土地利用の誘導】</p> <p>○空港臨海部グランドビジョン 2030 の推進に向けて、社会情勢の変化や空港臨海部の現状を把握し、空港臨海部の土地利用について課題を整理しました。</p>		4
決算額	0 円	
次年度以降の主な取組み		
○空港臨海部における土地利用の現状や課題を踏まえ、土地利用の誘導の方向性について、調査検討します。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	交通ネットワークの検討						
主な取組内容	臨海部の交通ネットワークについて、観光的側面も考慮しながら、道路網、公共交通機関、舟運を含めた新たな交通システムの検討を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
空港臨海部将来構想の検討、策定		→					
空港臨海部将来構想に基づいた交通ネットワークの検討			→				継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【空港臨海部将来構想に基づいた交通ネットワークの検討】</p> <p>○武蔵小杉・田園調布本町～羽田空港間のリムジンバスについて、バス事業者とともに新たなバス停設置を検討し、「久が原駅入口」及び「武蔵新田駅」バス停が新設され、羽田空港への交通利便性が向上しました。</p> <p>○蒲田駅～羽田空港方面のバス路線について、ルート変更に伴い、バス事業者とともに新たなバス停設置を検討し、「京急蒲田駅」バス停が新設され、羽田空港への交通利便性が向上しました。</p> <p>○災害時水上輸送ネットワークの構築に向けた方針を策定し、同方針に基づき舟運にも活用できる羽田空港天空橋船着場が完成しました。</p> <p>○まちづくり事業等施策調査（水上輸送ネットワーク）を実施し、7 か所の防災船着場を結ぶ水上ルートの航行調査、海老取川における航行量調査等を行いました。</p>	4	
決算額	0 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○シャトルバスやリムジンバス等の利用状況を踏まえつつ、区内他地域から羽田空港等臨海部へのさらなる利便性向上に向け、現状把握と検討を行います。</p> <p>○空港臨海部ランドビジョン 2030 に示されている交通ネットワークの整備の方向性について、空港臨海部地域の状況変化を踏まえ、調査検討します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	工場の立地・操業環境の整備						
主な取組内容	区内工場の立地・操業環境の向上のため、産業支援施設(賃貸工場、創業支援施設 [*] など)の整備・運営を行い、事業の拡張や高度化のために行う事業に対しては、経費の一部を助成します。また、区が工業用地を取得し、その活用の展開を図ります。						
(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30	
産業支援施設指定管理者*による運営・支援	→						継続
ものづくり工場立地助成	→						継続
工業用地再開発支援(用地取得、活用検討)	→			検証			
民間型工場アパートの整備・活用		整備支援	→	活用	→		継続

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【産業支援施設指定管理者による運営・支援】</p> <p>○産業支援施設指定管理者により賃貸工場（4 施設）、創業支援施設（1 施設）、産業連携支援施設（2 施設）のモニタリング評価を行い、総合所見でA及びB評価を判定しました。</p> <p>○評価結果は、賃貸工場はA評価が 2 施設、B評価が 2 施設、創業支援施設はA評価、産業連携支援施設は全てB評価でした。</p>	4	
<p>【ものづくり工場立地助成】</p> <p>○ものづくり工場立地助成は、急激な円高による景況悪化の影響を受け、企業の設備投資の動きが弱いところです。その中においても事業の拡張や高度化を図る企業もあり、経費の一部を助成しました。</p> <p>○新規に助成を実施する企業（7 件）を認定しました。また、前年度から継続して助成を実施した企業は、14 件（2 年度目 4 件、3 年度目 10 件）でした。</p>	4	

<p>【民間型工場アパートの整備・活用】</p> <p>○区内における工業の立地・操業環境の整備を推進し、高付加価値を生み出すものづくり産業の集積、維持及び発展、さらには高い技能・技術力の承継を図る施設として、東糶谷六丁目工場アパートが整備されました（敷地面積 4,597.34 m² 延床面積 8,488.65 m²）。東糶谷六丁目工場アパートは、区が民間から借り上げて管理する集合型工場です。</p> <p>○大田区ものづくり工場立地助成事業実施要綱に基づき、基盤施設整備として、助成を開始しました（10年間で助成）。</p>	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>221,149,887 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○産業支援施設の指定管理者による運営・支援では、企業ニーズにあったサービスの提供に努め、モニタリング評価も前年度と比較し向上しています。入居企業より、さらに高い評価を得られるように指定管理者との連携を図ります。</p> <p>○ものづくり工場立地助成は、立地支援策の重点事業です。「大田区企業立地促進計画」を踏まえ、大田区ものづくり企業の集積を維持・発展を図る事業として、様々な手法で取り組んでいく計画です。既存のものづくり工場立地助成の補助対象の拡大を図るとともに、東京都が実施する産業空洞化への対策事業との連携も進めます。</p> <p>○東糶谷六丁目工場アパートについては、施設移転後の入居企業の安定した操業確保を図り、ものづくり産業の維持集積・発展に努めるとともに、雇用創出や地域活性化に寄与する施設として展開します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まろ}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	新製品・新技術開発の支援						
主な取組内容	新規市場開拓等に向けて企業や企業グループが、新製品・新技術を開発する際に、企画・設計から試作・開発までに要する経費の一部を助成します。 大田区中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで技術力・開発力の向上意欲を醸成するとともに、大田区中小企業の技術力を広く内外にアピールします。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
補助金交付		→					検証
コンクール表彰		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【補助金交付】</p> <p>○試作段階の開発を終え、デザイン、知的財産権の取り組み等実用化・製品化の取り組みに助成する実用化製品化助成を新設する等、事業内容の見直しを行い、開発段階に応じた対応幅の広い支援を行いました。</p> <p>○助成実績は、開発スタート助成（上限 200 万円）採択 1 件（応募 2 件）、開発ステップアップ助成（上限 1000 万円枠）採択 4 件（応募 11 件）、開発ステップアップ助成（上限 500 万円枠）採択 7 件（応募 17 件）、実用化製品化助成（上限 100 万円）採択 13 件（応募 24 件）でした。</p>	4	

<p>【コンクール表彰】</p> <p>○応募件数は 25 件で、受賞企業は 9 社でした。</p> <p>○本年度は、従来からの賞と、昨年度新設の「おおた E C O 推進賞」、「テク乃ちゃんイチ押し賞」に加え、東日本大震災の復興に資する賞として「復興支援特別賞」を特別に設けました。</p> <p>○新たな試みとして表彰式当日に「受賞企業プレゼンテーション」を実施し、大田工業フェア来場者への技術 P R を実施しました。</p>	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>141,866,431 円</p>	
<p>次年度以降の取り組み</p>		
<p>○東日本大震災や歴史的円高の影響から厳しい経営状況にあるものづくり企業を支援するため、即効的な区内への経済波及効果の高い実用化製品化助成の拡大を図ります。従来の助成限度額 100 万円に加え、1,000 万円と 500 万円を新設し、更に 1,000 万円の申請対象者を従業員 10 名以上の中小製造業者に限定することで、外注等によるより大きな波及効果が促すとともに、開発ノウハウの蓄積を狙います。</p> <p>○「新製品・新技術開発支援事業」、「新製品・新技術コンクール」を基点に区内企業の研究開発意欲の向上をめざし、新製品・新技術の開発支援を促進します。また、今後製品としての完成度の向上を推進する支援を実施します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	海外市場開拓支援						
主な取組内容	区内企業の優れた製品や技術を、アジアをはじめ世界に情報発信し、実際の取引拡大につながるような海外展開を支援します。諸外国・地域の政府機関、産業関連機関、企業団体との交流を積極的に進め、区内企業に対して情報提供等の支援策を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
海外展開支援		→					検証
情報提供等の実施		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【海外展開支援】</p> <p>○タイのオオタテクノパーク入居に向けて準備を進める企業 30 社と、現地において施設・政府機関や関連企業の紹介等（延べ 5 回）を実施しました。</p> <p>○中国市場開拓として、大連において、大田工業連合会加盟企業 20 社と現地企業との商談会を開催しました。</p> <p>○海外見本市への出展支援（タイ・中国合わせて 6 展示会、区内企業 32 社（初出展 17 社））を実施しました。</p>	4	
<p>【情報提供等の実施】</p> <p>○海外展開の支援事業を、①基礎知識の提供、②海外販路開拓、③現地法人設立の 3 ステップに分けて実施しました。</p> <p>○海外取引相談（477 件）、中国取引相談（367 件）に対応しました。</p> <p>○海外市場調査（中国 6 都市（上海市、常州市、昆山市、瀋陽市、香港、台湾）、タイ他 ASEAN の 6 都市（バンコク、ハノイ、ジョホール、マラッカ、シンガポール、ジャカルタ））を実施し、情報収集、整理、分析を行いました。</p>	4	
決算額	27,036,029 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○タイは、大洪水に見舞われ経済的に大きな打撃がありましたが、ほとんどの現地進出日系企業がタイに留まって操業する姿勢です。引き続きオオタテクノパークの機能を最大限に活用し、事業の維持拡大につなげる支援を行います。</p> <p>○オオタテクノパークの第 3 期工場の入居支援を行います。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	次世代ものづくり人材の育成						
主な取組内容	小中学生を対象としたものづくり実践教室、産業のまちスクール、子ども起業家育成セミナーを実施し、ものづくりへの興味・関心を促す事業を行います。産業団体の実施する経営・技術指導講習会への補助をはじめ、若者と中小企業のマッチング、次世代経営者育成セミナーなどの人材育成事業を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
講座・セミナーなどの開催		→					検証
講習会などへの補助		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【講座・セミナーなどの開催】</p> <p>○経営技術指導講習会として、CAD製図初級講座（2回、参加者延べ27人）、やさしい図面の見方（2回、参加者延べ35人）、NCプログラミング初級講座（参加者15人）、フライス盤・旋盤講座（2回、参加者延べ17人）、新規人材育成セミナー（参加者45人）、次世代経営者育成セミナー（2回、参加者延べ24人）を開催しました。</p> <p>○産業のまちスクールとして、区内小学生と保護者を対象に工場集積地域と工場内の見学会、ものづくり体験（参加者23組46人）を実施しました。</p> <p>○ものづくり実践教室として、小学校1～4年生を対象に芝浦工業大学と連携したロボットづくり教室（80組160人）を開催しました。</p> <p>○小学校5・6年生及び中学校1・2年生を対象に都立産業技術高等専門学校等と連携したプログラミングロボットづくり教室（参加39人）を開催しました。</p> <p>○ものづくり人材育成プロジェクトとして、ものづくり人材育成・確保に寄与する取り組みを行った企業（2社）に助成したほか、中学校生徒職場体験を受け入れた企業（14社）に助成しました。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>	4	

<p>(前ページからの続き)</p> <p>○区内中小企業の次世代を担う若手人材確保のため、若者と中小企業とのマッチングフェア「ヤングジョブクリエイションおおた 2011」(参加企業 40 社、参加者 600 人)を開催し、イベントを通じて中小企業のイメージアップを図るとともに、参加企業の紹介や求職者向けセミナー等を行いました。</p> <p>○プレ就職面談会(2回、参加企業延べ 22 社、参加者延べ 105 人)を開催し、実践的な面談の場を提供し、参加区内中小企業のPRと、求職者向けセミナー等を行いました。</p>		
<p>【講習会などへの補助】</p> <p>○工業団体実地研修会の支援として、各団体が実施する企業見学会等の研修会へ助成(9件)しました。</p> <p>○経営革新支援事業として、団体等が経営革新や技術向上等のために実施する講習会(7団体が15回)について、助成しました。</p>	4	
<p>決算額</p>	<p>21,476,130 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○企業の経営力アップをめざし、次世代経営者育成セミナーの開催回数を 2 回から 3 回に増やします。</p> <p>○若者と中小企業とのマッチングフェアについては、ハローワーク大森との連携により、フェアの内容の充実と就職希望者の増加をめざします。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	商店街景観整備事業						
主な取組内容	商店街関係者、地域住民、NPO*、コンサルタントなどにより協議会を組織し商店街の役割を見直し検討するとともに、歴史や文化に特徴を持つ商店街の景観整備を行い、にぎわいのあるまちづくりを進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
候補地A 協議会設立、実施計画検討・策定・実施		→					
候補地B 協議会設立、実施計画検討					→		検証

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【候補地 A 協議会設立、実施計画検討・策定・実施】</p> <p>○ミハラ 4 商店街について、ファサード整備を実施し、竣工しました。 ※ファサードとは、建物などの正面（この場合来街者の方から見える建築物）を言います。</p> <p>【候補地 B 協議会設立、実施計画検討】</p> <p>○中小企業診断士による勉強会（協議会設立に向けての準備及び景観整備事業に関するもの。参加者商店会役員 11 人）を実施しました。以後、商店街の現状調査及び他の商店街の事例に関する勉強会等を、商店会が主体となって実施しています。</p>	4	
決算額	36,772,000 円	
次年度以降の主な取り組み	○集客に向けたPR及びイベント等の支援を行うとともに、集客効果を上げるための勉強会についても支援を行います。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	ふれあい商店街事業						
主な取組内容	商店街内に新たなコミュニティ*空間、高齢者に優しいまちを創出するため、商店街会館及び空き店舗などを活用します。お休み処・トイレなどを整備し、来街者のために開放します。提供する商店街に対しては、運営費の一部を補助します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
実施商店街		2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	検証	継続

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取組み内容	進捗状況	
<p>【実施商店街】</p> <p>○西蒲田商店街交友会にお休み処である「まちの駅」を開設し、実施商店街は 6 か所となりました。</p> <p>○既に開設している矢口の渡商店会、日の出銀座商店街、雑色商店街、長原商店街、梅屋敷東通り商店街に、運営費の一部を助成しました。</p> <p>○商店会長を通じ、利用者への聞き取り調査を行い、現地での利用状況、トイレ等の清掃状況を把握しました。その結果、以下のことを確認しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前中はサラリーマン、午後は小学生や買い物に来ている比較的若い世代の主婦の利用もある。 ・トイレは清潔に使用されている。 ・ゴミの量が多く処分に手間がかかる。 ・利用されている方からは評判が良い。 	4	
決算額	5,241,000 円	
次年度以降の主な取組み	○引き続き、既に開設している商店会等に、運営費の一部を助成します。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	商店街イベント・機能向上の支援						
主な取組内容	商店街が自ら企画し実施するイベントや商店街の機能向上のための事業に対して、必要な経費の一部を助成します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
商店街への助成事業実施		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
【商店街への助成事業実施】 ○商店街が実施し、地域住民が参加でき販売促進の効果が期待できるイベント事業（168 事業、84 商店街）に助成しました。 ○商店街が実施する商店街の環境整備や集客効果が期待できる活性化事業（13 事業、13 商店街）に助成しました。	4	
決算額	289,000,600 円	
次年度以降の主な取り組み	○引き続き助成事業を行い、必要に応じて中小企業診断士等を派遣し、効果的なイベントや商店街の機能向上を図ります。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	おおた商い観光展の開催						
主な取組内容	広く区内外の事業者等に呼びかけ、各地域の銘品・逸品(食品・工芸品など)の展示・販売を行うとともに、区内の観光情報の発信や逸品認定発表を行い、「大田区の観光資源」を全国に向けて発信する「おおた商い観光展」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
おおた商い観光展の開催		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取組み内容	進捗状況	
<p>【おおた商い観光展の開催】</p> <p>○平成 23 年 10 月に区の商店や観光資源を全国に発信する「おおた商い観光展」(来場者数延べ 10,391 人)を開催しました。</p> <p>○区内の商店、観光、観光関連事業、特産品、逸品、匠等幅広い分野で、129 の商店・企業・団体が出展しました。</p> <p>○おおたの逸品、OTA! いちおしグルメの表彰式、観光シンポジウム等を併催しました。</p> <p>○「商い・観光・匠」のビジネス交流として、取引先となる企業等への PR を充実し、24 件の商談がありました。</p> <p>○東日本大震災復興支援として、宮城県東松島市、岩手県、福島県、茨城県から 5 社・3 団体を誘致しました。</p>	4	
決算額	11,536,779 円	
次年度以降の主な取組み	○引き続き、大田区の商業や観光を発掘・PR する展示会として内容の充実を図ります。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	サービス業実態調査とマッチング支援						
主な取組内容	情報サービス、物流サービス、専門サービス(コンサルティング、財務、法務)などビジネスを支援するサービス産業や、区民の生活を応援する生活関連サービスに関する調査を実施し、その活動状況や課題を把握します。その上で、製造業や商業の顧客獲得や生産性の向上、区民生活の利便性の向上に貢献するサービス産業の支援を検討します。また、ビジネス支援・生活関連サービス分野のNPOや社会起業家の活動の把握・支援を検討します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
実態調査の実施、支援策の検討		→					
ビジネス支援サービス・生活関連サービス業の支援の実施				→			検証
NPO・社会起業家の活動状況の支援の実施				→			検証

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【ビジネス支援サービス・生活関連サービス業の支援の実施】</p> <p>○平成 23 年度以降の課題としていた、情報提供や支援策の強化に向けた取り組みを進めました。</p> <p>○区報（4 回）で、区の融資制度を広く周知しました。</p> <p>○商業版の産業情報誌「あきnow」（9,000 部）を発行し、区内の各商店、飲食店等の各店舗に配布しました。</p> <p>○あきない・サービス系産業団体等経営革新支援事業として、講習会等（18 回）に助成しました。</p>	4	

<p>【NPO・社会起業家の活動状況の支援の実施】</p> <p>○経営改善や新規事業・販路開拓等に取り組む企業等に、専門知識を有する人材を派遣し、問題解決をサポートするビジネスサポートサービスの内容を、(公財)大田区産業振興協会ホームページに掲載し、周知しました。</p> <p>○ビジネスサポートサービスの支援協力者登録数は97人(前年度比9人増)で、派遣回数400回でした。</p> <p>○テーマを「モノづくり」「観光、商業・サービス」「コミュニティビジネス」に設定し、ビジネスプランを募集しました。応募件数は79件で、受賞したのは8件(受賞者:最優秀賞1件、優秀賞1件、奨励賞1件、後援先特別賞5件)でした。受賞者を対象に、表彰式(来場者127人)を行いました。</p> <p>○創業相談(相談件数46件)に対応しました。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>9,311,687 円</p>
<p>次年度以降の主な取り組み</p>	
<p>○平成21年度のサービス業実態調査の調査結果を踏まえ、今後も情報提供や現行の支援策の強化を図ります。また、融資制度の周知を図るため、引き続き区報掲載を行います。</p> <p>○ビジネスサポートサービスについて、引き続き、多種・多様化する相談内容に対応できるよう、情報提供と相談体制を整備します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	にぎわいを生み出すスポットづくり						
主な取組内容	観光推進団体と連携しながら、区内の面白スポットなどを発掘し、新たな観光コースとして紹介することで、観光資源として活かしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
スポットの発掘・整理		→					検証
新たな観光コースづくり		→					検証
観光コースのPR		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【スポットの発掘・整理】</p> <p>○区内の名所をテーマごとに巡る大田再発見ツアーとして、「のりのりビーチフェスタ（2回、参加者延べ1,000人）」、「地元ガイドと巡る池上七福神ツアー（参加者28人）」、「アート鑑賞&まちあるき（参加者79人）」、「おおたの桜スタンプラリー（参加者222人）」、「おおたの桜ウォーク（参加者66人）」を実施しました。</p> <p>○大田区の見どころを写真撮影しながら散策する“てくてくフォト散歩”として、「海上からみる羽田空港（参加者20人）」、「多摩川下流自然巡り（参加者21人）」を実施しました。</p> <p>○大田区の観光スポットを紹介するため、観光まちづくりガイド養成講座（受講者22人）、羽田空港ウォーキング（主催：大田・品川ガイドの会、参加者100人）を実施しました。</p> <p>○品川区との連携で事業展開するまちづくり推進協議会において、「日本文化体験シリーズモニターツアー（参加者約150人）」、「旧東海道を行く！銭湯&商店街グルメウォーク（参加者1,275人）」を実施しました。</p>	4	

<p>【新たな観光コースづくり】</p> <p>○「池上七福神めぐり&羽田七福神稲荷めぐり（5,000 部）」マップ改訂・増刷、「おおた銭湯マップ（30,000 部）」改訂・増刷、「六郷用水散策マップ（10,000 部）」改訂・増刷、「おおた観光イラストマップ（10,000 部）」改訂・増刷、「馬・池・洗」散策マップ（10,000 部）」改訂・増刷、「大田の魅力再発見ウォーク・六郷」マップ（3,000 部）」改訂・増刷、「大田区ミュージアムマップ（4,000 部）」増刷、「蒲田マップ（10,000 部）」作成、「しながわ・大田観光マップ（15,000 部）」増刷を行い、羽田空港内大田区観光情報コーナーや特別出張所・図書館等区施設、観光まちかど案内所等で配布しました。</p> <p>○観光まちづくり助成事業として、区民活動団体に助成し、「大森アートマップ（10,000 部）」を作成しました。</p>	4	
<p>【観光コースのPR】</p> <p>○大田区の観光コース等を広く PR するため、「京急イベントファミリー鉄道フェスタ」、「多摩川ウォーキングフェスタ」、「おおた商い観光展（参加者 10,391 人）」、「羽田空港国際化 1 周年記念いらっしゅい OTA（参加者 15,000 人）」、「OTA ふれあいフェスタ」、「都庁観光情報コーナーPR コーナー展示」に出展し、パネル展示やマップ・パンフレット配布等を行いました。</p> <p>○品川区との連携によるまちづくり推進協議会において、「ふるさと祭り東京 2012（ブース来場者 5,000 人）」に出展しました。</p>	4	
<p>決算額</p>	<p>2,000,000 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○大田区・蒲田が舞台となる NHK の連続テレビ小説「梅ちゃん先生」放映に関連した観光コースや見どころを開発し、広域的に PR します。</p> <p>○ボランティアガイド団体や区民活動団体等との連携を促進し、地域の特色を活かした旅行商品の開発を支援します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	ものづくりのまち体験ツアーの実施						
主な取組内容	観光推進団体と連携し、区内の工場の協力を得て、観光客がものづくりを体験できる環境を整備し、「ものづくりのまち体験ツアー」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
事業化に向けた検討		→					
体験ツアーの実施			→				検証

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取組み内容	進捗状況	
【体験ツアーの実施】 ○大田区町工場・工業に関する基礎調査等の結果を冊子「大田モノ・まちBOOK2011（200部）」に集約しました。 ○工場の協力のもと、参加者に町工場をオープンし、体験ツアー「オープンファクトリー（参加者 1,200 人、参加企業 23 社）」、「工場見学・体験ツアー（参加者 120 人）」を実施しました。 ○大田工業フェアで、ものづくり観光についてのパネル展示「大田工業フェアものづくり展示」を行いました。	4	
決算額	4,280,000 円	
次年度以降の主な取組み	○オープンファクトリー等の町工場観光を試行段階から実践レベルへと引き上げるための仕掛けづくりを行います。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	シティセールス*の実施						
主な取組内容	羽田空港の国際化に対応するため、空港乗り入れ都市(海外を含む)などに対し、多言語で大田区の観光資源を情報発信していきます。また、区内の観光情報をPRするため、積極的にメディア展開をしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
区内情報のPR	→					検証	

所管部局	産業経済部	
平成 23 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【区内情報の PR】</p> <p>○大田区の観光の魅力をもっとPRするため、「大田の観光(夏)(冬)(各 10,000 部)」、「大田の観光(秋)(春) (各 15,000 部)」、「大田ヒストリア (3,000 部)」、「蒲田モダン (大倉孫兵衛) (5,000 部)」、「蒲田モダン (5,000 部)」改訂・増刷を発行しました。</p> <p>○大田区の観光を効率的に発信するため、既存の観光情報媒体に記事掲載を行いました。国内向けには、東急「SALUS」(平成 23 年 9 月 20 日号・平成 23 年 12 月 20 日号・平成 24 年 3 月 20 日号、発行 23 万部)、近畿日本ツーリスト「江戸道しるべ」(発行 8 万部)、海外向けには、ニューヨーク「チョップスティック NY」(平成 23 年 8 月号、発行 5 万部)、「Good Luck Trip 東京 (アジア)」(平成 23 年 11 月 10 日号、発行部数 10 万部)。</p> <p>○NHK の連続テレビ小説「梅ちゃん先生」の放送を機に大田区のシティセールス展開のため、NHK サービスセンター発行の番組紹介雑誌「NHKステラ」(平成 24 年 4 月 6 日号、発行部数 120,000 部)へ大田区のPR広告を掲載するための準備を行うとともに、大田区紹介記事へ観光情報を提供しました。さらに、同号の特別編集版(4 万部)を作成し、各方面への配布によるPR活動を行いました。</p> <p>○大田区の観光情報をタイムリーに発信するため、大田観光協会ホームページ(アクセス数 430 万超)、しながわ・大田地域観光まちづくり推進協議会ホームページに随時、最新の情報を掲載しました。</p> <p>(次ページへ続く)</p>	4	

(前ページからの続き)	
<p>○蒲田が観光庁の訪日外国人旅行者受入環境整備事業の戦略拠点としての指定を受けたことに伴い、「大田区ウェルカムショップ」「大田区まちかど観光案内所」として区内飲食店等の登録制度（各 70 店以上登録）をスタートしました。また、蒲田 PR パンフレット「KAMATA 旅するあなたのそばに」(日・英各 8,000 部、中(簡)・中(繁)・韓各 2,000 部)を作成しました。</p> <p>○いきいき大田写真コンクールに部門賞（緑・水辺部門、大森・蒲田にぎわい部門、モノづくり部門）を設け、募集、選定、表彰を行いました（応募 188 人、応募点数 544 点）。</p> <p>○大田区に縁のある外国籍等の方々を大田区観光大使（来～る大田区大使）に任命（新規任命 8 人、22 年度から継続 7 人、計 15 人）し、ネット等を通じて大田区の魅力を発信していただきました。</p> <p>○羽田空港国際線ターミナル内の大田区観光情報コーナーにおいて、工業・商業・伝統工芸品等の展示、パンフレット配布（来場者 27,000 人超）を行いました。また、区内事業者等から工業・商業品等を公募（応募点数 8 点）し、展示しました。</p> <p>○東京観光財団主催の「トラベルマート」(2 回)に参加し、旅行会社をはじめ観光関係事業者に大田区の観光を PR しました。</p>	
決算額	35,528,194 円
次年度以降の主な取り組み	
<p>○大田区の魅力を発信するにあたり、訴求対象に効果的にアプローチできる媒体を複合的に組み合わせて活用します。</p> <p>○訪日外国人が海外現地で情報を得られるよう、海外の情報媒体を積極的に活用し、どのような反応があるか等を捉えて以降の広報戦略に還元させます。</p>	